

あつまる・そだつ・つながる まちだの介護人材

写 真

〇〇〇〇写真の注釈〇〇〇〇

全国で介護人材が不足しています

介護業界は、慢性的に人材不足の状況が続いています。更に今後は、高齢者人口の増加に伴い介護サービスの需要が増加する一方で、少子化による働き手の減少が見込まれます。

介護サービスを提供するためには、専門技術を持った職員を確保することが重要です。全国的に見ると、働く職員がいないために入所施設を運営できない、通所介護や訪問介護のサービスを提供できないという事業所が数多く出てきています。

町田市の強み(町田市介護人材開発センター)

全国で介護人材の不足が見込まれる中、市は 2011 年に「町田市介護人材開発センター(以下、「介護人材開発センター」という)」設立の支援を行い、その後も協力して介護人材の「確保」、「育成」、「定着」に取り組んでいます。介護人材に特化したこのようなセンターがあるのは多摩 26 市の中では町田市だけです。

この強みを生かし、市と介護人材開発センターは一体となって介護人材の確保に向けた取り組みを進めています。引き続き、介護職員が働きやすい環境づくりと介護サービス事業所の負担軽減を進めていきます。

介護のしごと、ホントのところ

介護の仕事と聞いて、どのようなイメージをお持ちでしょうか。「給与が安そう」、「体力的に大変そう」、「オフの時間が取れないのでは」などのイメージをお持ちの方、実はそれは、過去のものです。

ICT 技術による介護の DX や処遇・環境改善などで、介護の働き方は一昔前とは異なるものに変化をしています。

市内の介護サービス事業所を対象とした調査でも、多くの職場が職員の就労継続のために、「勤務日や労働時間の調整」、「賃金・労働時間等の改善」、「業務改善や効率化による働きやすい職場づくり」などに取り組んでいることがわかっています。

写 真 等

〇〇〇〇写真の注釈〇〇〇〇

あつまれ！まちだの介護人材（人材の確保）

介護は、この街の未来を支える、誇りとやりがいのある仕事です。日々の関わりの中で利用者様やそのご家族からいただく「ありがとう」という感謝の言葉は、何物にも代えがたい喜びであり、働くあなたの大きな力になります。

例えば、「人と話すのが好き」という性格は、介護の現場ではとても大きな武器になります。専門的な技術だけでなく、あなたの持つ優しさや個性を「大切なスキル」としてしっかり評価し、あなたらしく輝ける職場で働きませんか。

その1【未経験者でもできる】

介護未経験の方でも、基本的な介護の知識や技術を学ぶことができる「介護の入門的研修」を受講していただくことで、町田市のヘルパー（まちいきヘルパー）として働くことができます。

介護未経験の方を対象とした「入門的研修」や「介護講習会」を開催し、介護に興味ある方に参加していただいています。

「介護職員初任者研修」の受講補助制度もあり、未経験からスタートした方でもステップアップを目指せます。

その2【きめ細かな就労サポート】

介護サービス事業所には様々な種類があり、そこでの働き方も多種多様です。求職者にとって、自分の求める働き方を選ぶことは大変重要です。また、その職場の雰囲気も大切にしたいポイントになります。市内の多くの事業所とのネットワークを持つ介護人材開発センターが、就労相談会のほか、複数の事業所が参加する合同面接会等を開催し、就職希望者をきめ細かにサポートします。

まちだでそだつ！（人材の育成）

介護事業所で働く上では、現場での経験に加え、専門的な知識の習得が非常に重要です。介護事業所で働く職員を対象に、資格取得の支援やスキルアップのための研修を実施しています。これらの制度を活用することで、着実なキャリアアップが可能です。職員の意欲を全力でサポートする環境で、学びを深めながら、共に成長できます。

その1【資格取得を応援】

介護には専門的な知識や技術が必要であり、それらは介護を受ける方の生活の質に直結します。

市は、介護の仕事に従事する上で必要となる基礎的な知識と技術を学ぶ、「介護職員初任者研修」の受講費用の負担を行い、新しく就労する職員や、すでに就労している職員が資格を持って働けるよう応援します。

また、介護福祉士を目指すために必要な資格である、「介護福祉士実務者研修」の受講費用を補助し、市内で就労する介護職員としてのステップアップの支援をしています。

その2【職員のスキルアップ】

介護の仕事は、ステージに応じて必要なスキルが異なります。新任職員を対象とした「介護基礎研修」やリーダー層に必要とされるマネジメントを中心とした「介護中上級研修」などの職層別の研修を行っています。

研修を通して専門性の向上を図り、適正なサービスの提供を目指します。

写 真 等

〇〇〇〇写真の注釈〇〇〇〇

まちだでつながる！（人材の定着）

職員が長く働くためには、心理的な安心感や物理的な働きやすさを整えることが大切であると考えています。

事業所の枠にとらわれない仲間づくりや相談できる人間関係を築くことや、業務負担の適正化など、「長く働き続けたい」と感じることができる職場環境を整えます。

その1【みんな、まちだで働く仲間】

一般的に、介護サービス事業所は少人数の事業所が多いうえ、シフト勤務などにより、他の職員と交流する機会が少ない傾向にあります。

そこで、市では、市内の介護サービス事業所に新しく就職した職員を対象とした「合同入職式」の実施や、医療・介護・福祉に関わる事業所の職員や地域団体等が研究を発表する「アクティブ福祉 in 町田」の開催など、事業所を越えた仲間づくりを応援します。

また、市内で就労する外国人職員を対象とした「外国人職員支援研修」を実施し、研修を通じて日本語でのコミュニケーションを学ぶとともに、外国人同士の繋がりを築くことができるような支援をします。

その2【職場環境の改善】

負担軽減や生産性向上などによる働き方の改革や、ハラスメント対策等の研修を実施し、職場環境の改善を目指します。心理的安全性を高め、働きやすい環境を整えることで、介護職員の定着と意欲向上を図ります。

介護のしごとの魅力発信

介護の仕事内容や働き方、やりがいなどを知っていただくことで、介護の仕事を選ぶきっかけを作るための取組みをしています。

その1【伝える】

介護の仕事は、キャリアイメージを持って働き続けることや、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができるなど、自分らしさを活かすことができる仕事です。

介護の仕事の魅力を多くの方に知ってもらうため、仕事のやりがいや働く方の想いなどを紹介する動画等を作成し、市の公式YouTubeチャンネルや駅前の大型モニターなどで発信します。

引き続き、介護のしごとの魅力を、様々な方法で伝えます。

その2【体験する】

介護の仕事に就く人の多くは、職場体験や家族の介護など、身近に介護と触れ合う機会があったと言われています。

市では、小学生と保護者が楽しみながら介護の仕事を体験し、新たに介護への興味を持つ機会となるよう、「まちけあ★キッズ かいごのお仕事体験」を実施しています。また、車いすの移乗や介助の体験しながら学べるよう、市民を対象とした「介護講習会」を実施しています。気軽に参加してみませんか。

写 真 等

〇〇〇〇写真の注釈〇〇〇〇

写 真 等

〇〇〇〇写真の注釈〇〇〇〇

指標の紹介

目標の達成状況や取組みの成果を測るために
以下の指標を定めました。

取組みの成果を測る指標

